



ビデオ設定

- [ビデオサービスの無効化](#) (1 ページ)
- [ビデオ帯域幅の制御](#) (1 ページ)
- [カメラ露出の調整](#) (2 ページ)
- [ビデオ送信解像度のセットアップ](#) (3 ページ)
- [ビデオコーデックの設定](#) (4 ページ)

ビデオサービスの無効化

電話機ですべてのビデオ設定を無効または非表示にして、電話機のビデオ機能を無効化することができます。ビデオサービスを無効化すると、電話機でビデオ設定メニューを確認できなくなります。また、[ビデオ (Video)] および [カメラ露出 (Camera Exposure)] パラメータが電話機の Web ページに表示されなくなります。カメラ露出の詳細については、[カメラ露出の調整](#) (2 ページ) を参照してください。

手順

- ステップ 1** 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] を選択します。
 - ステップ 2** [補足サービス (Supplementary Services)] セクションの下にある [ビデオサービス (Video Serv)] リストから、ビデオサービスを有効にする場合は [はい (Yes)] を選択し、サービスを無効にする場合は [いいえ (No)] を選択します。
 - ステップ 3** [すべての変更内容を送信 (Submit All Changes)] をクリックして、設定を保存します。
-

ビデオ帯域幅の制御

ネットワークがビジー状態であったりネットワークリソースが制限されている場合、ユーザからビデオの問題 (遅延や突然の停止など) について不満が出る場合があります。

デフォルトでは、音声とビデオのネットワーク要件のバランスを考慮した帯域幅設定が電話機で自動的に選択されます。

ネットワークの状況に応じて、固定帯域幅設定を指定して自動選択を無効にすることができます。固定帯域幅を設定する場合は、設定を選択し、ビデオのラグがなくなるまで下方に調整します。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [音声 (Voice)] > [電話機 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 ビデオの設定 セクションで、**帯域幅許容** パラメーターから帯域幅を選択して、電話が送受信できる情報の最大量を制限します。詳細については、

オプション: 自動

- 自動
- 2 Mbps
- 1 Mbps
- 750Kbps
- 500Kbps
- 250Kbps

デフォルト: [自動 (Auto)]

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Bandwidth_Allowance ua="na">Auto</Bandwidth_Allowance>
```

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

カメラ露出の調整

オフィスの周囲光に合わせてカメラの露出を調整できます。露出を調整して、送信されるビデオの明るさを変更してください。

[アプリケーション (Applications)]  > [ユーザ設定 (User Preference)] > [ビデオ (Video)] > [露出 (Exposure)] メニューから電話機で露出を調整することもできます。

始める前に

カメラのシャッターが開いている必要があります。

手順

- ステップ 1** 電話機のウェブページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [ユーザー (User)] を選択します。
- ステップ 2** [ビデオの設定 (Video Configuration)] セクションで、[カメラ露出 (Camera Exposure)] フィールドに値を入力します。
- 露出の範囲は 0 ~ 15 で、デフォルト値は 8 です。
- ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

ビデオ送信解像度のセットアップ

Cisco IP 電話 8845 および 8865 は、次のビデオ形式をサポートしています。

- 720p (1280 X 720)
- WVGA (800 X 480)
- 360p (640 X 360)
- 240p (432x240)
- VGA (640 x 480)
- CIF (352 X 288)
- SIF (352 X 240)
- QCIF (176x144)

ビデオをサポートする Cisco IP 電話は、電話機の設定および電話画面の制限に基づいて最適な帯域幅および解像度をネゴシエートします。

次の表に、サポートされているビデオタイプ別の解像度、フレーム/秒、およびビデオビットレート範囲を示します。

ビデオの種類	ビデオ解像度	フレーム/秒 (fps)	ビデオ ビット レート 範囲
720p	1,280 X 720	30	1360 ~ 2500 kbps
720p	1,280 X 720	15	790 ~ 1359 kbps
WVGA	800 x 480	30	660 ~ 789 kbps
WVGA	800 x 480	15	350 ~ 399 kbps
360p	640 x 360	30	400 ~ 659 kbps

ビデオの種類	ビデオ解像度	フレーム/秒 (fps)	ビデオ ビット レート 範囲
360p	640 x 360	15	210–349kbps
240P	432 x 240	30	180–209kbps
240P	432 x 240	15	64–179kbps
VGA	640 X 480	30	520 ~ 1500 kbps
VGA	640 X 480	15	280 ~ 519 kbps
CIF	352 X 288	30	200 ~ 279 kbps
CIF	352 X 288	15	120 ~ 199 kbps
SIF	352 X 240	30	200 ~ 279 kbps
SIF	352 X 240	15	120 ~ 199 kbps
QCIF	176 x 144	30	94 ~ 119 kbps
QCIF	176 x 144	15	64 ~ 93 kbps

ビデオコーデックの設定

ビデオコーデックによって、デジタルビデオの圧縮または圧縮解除を行うことができます。電話機の Web ページからビデオコーデックを有効または無効にすることができます。

Cisco IP 電話 8845 および 8865 は、H.264 ハイプロファイルパケット化モード 1、ベースプロファイルモード 0、とベースプロファイルパケット化モード 1 コーデックをサポートしています。

すべてのコーデックで、Real Time Protocol (RTP) ペイロードタイプはダイナミックになります。電話機の Web ページから [管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [SIP] > [SDP ペイロードタイプ (SDP Payloads Type)] で設定できます。詳細については、[SDP ペイロードタイプ](#) を参照してください。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[ビデオコーデックパラメータ \(5 ページ\)](#) の文字列のシンタックスを参照してください。

手順

- ステップ 1 電話機の Web ページで、[管理者ログイン (Admin Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [Ext(n)] を選択します。
- ステップ 2 [ビデオの設定 (Video Configuration)] セクションで、[ビデオコーデックパラメータ \(5 ページ\)](#) の説明に従ってフィールドをセットアップします。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)]をクリックします。

ビデオコーデックパラメータ

次の表で、電話機のウェブインターフェイスの [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext (n))] タブの下にある [ビデオ設定 (Video Configuration)] セクションにおけるビデオコーデックパラメータの機能と使用方法を定義します。また、パラメータを設定するために、XML コードを含む電話設定ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 1: ビデオコーデックパラメータ

パラメータ	説明
[H264 BP0対応 (H264 BP0 Enable)]	<p>H264 ベース プロファイル 0 コーデックは、[はい]を選択すると有効になり、[いいえ (No)]を選択すると無効になります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML(cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><H264_BP0_Enable_1_ ua="na">可</H264_BP0_Enable_1_></pre> <ul style="list-style-type: none"> 電話機のウェブインターフェイスでは、このフィールドを[はい]または[いいえ (No)]に設定して、H264 BP0 コーデック を有効または無効にします。 <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No)</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>
[H264 BP1対応 (H264 BP1 Enable)]	<p>H264 ベース プロファイル 1 コーデックは、[はい]を選択すると有効になり、[いいえ (No)]を選択すると無効になります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML(cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><H264_BP1_Enable_1_ ua="na">可</H264_BP1_Enable_1_></pre> <ul style="list-style-type: none"> 電話機のウェブインターフェイスでは、このフィールドを[はい (Yes)]または[いいえ (No)]に設定して、H264 BP1 コーデック を有効または無効にします。 <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No)</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>

パラメータ	説明
[H264 HP対応 (H264 HP Enable)]	<p>H264 ハイプロファイルコーデックは、[はい (Yes)]を選択すると有効になり、[いいえ (No)]を選択すると無効になります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML(cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><H264_HP_Enable_1_ ua="na">可</H264_HP_Enable_1_></pre> 電話機のウェブインターフェイスでは、このフィールドを[はい (Yes)]または[いいえ (No)]に設定して、H264 HP コーデック を有効または無効にします。 <p>有効値: はい (Yes) いいえ (No) デフォルト: はい (Yes)</p>
[暗号化方式 (Encryption Method)]	<p>セキュアなコール中に使用される暗号化方式です。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XML(cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre><Viedo_Encryption_Method_1_ ua="na">AES 128</Viedo_Encryption_Method_1_></pre> 電話機のウェブインターフェイスで、使用する暗号化方式をリストから選択します。 <p>許容値: AES 128 AES 256 GCM デフォルト: [AES 128]</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。